Photo ふなばし

vol. 63

広報ふなばし写真版

とくしゅう PART 1

美しい自然と生活環境を守ろう

船橋の下水道整備

MOVE

うるおいのあるウォーターフロント

千葉港(船橋地区)海岸環境整備事業

- 市政トピックス
- 街角ホットニュース
- **サークル通信**　●ズームアップ
- *WE ARE IN FUNABASHI*

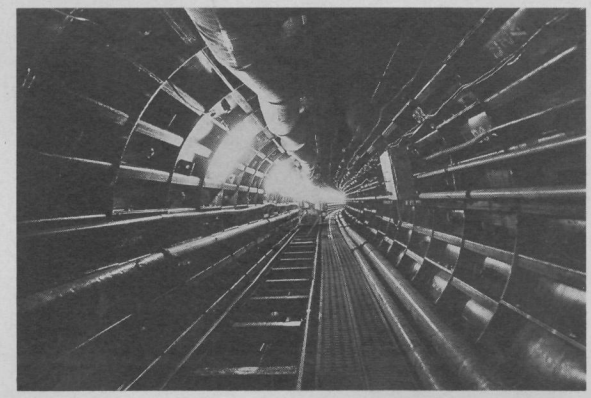
まちなかの文化財／ふなばしの民話
ペットインタビュー

とくしゅう PART2

ふなばしの道 ①

成田街道界わい

完成すると、1日に20万2000㎥の処理能力を持つ高瀬下水処理場



東船橋から高瀬下水処理場に向かう、下水道高瀬処理区の幹線工事

道端にたたずむ「百庚申」は、今でも市民の暮らしを静かに見守っています

MOVE

うるおいのある ウォーターフロント

千葉港(船橋地区)海岸環境整備 事業

完成予想図

海を見ながら散歩したり、ジョギングを楽しんだり、皆さんにもっと海に親しんでもらえるように…。

現在、浜町付近で千葉県が千葉港海岸環境整備事業を進めています。エリアは、らぽーとに面した海老川河口の水門から東関東自動車道(国道357号)高架下までの約530㍍です。老朽化が進んだ既存の直立護岸を幅広護岸に改良し、なだらかな土の堤防を築きます。海を望めるそのスペースには、四季折々の花や樹木を植えたり、展望広場やボードウォーク（見晴らし台）などが設けられる予定で、ここを訪れる皆さんにやすらぎを与える親水緑地に変わります。緑地面積は約1万5千平方㍍です。また昭和60年に護岸を利用して創られたユニークな『街かど美術館』は、今後も道行く人々に楽しんでもらえるように、場所を移して残されます。平成9年度完成予定のこの事業、船橋の海に親しめる新名所が誕生しようとしています。

とくしゅう
PART1

美しい自然と生活環境を守ろう
船橋の下水道整備

高瀬処理区の幹線工事。JR東船橋駅北口から高瀬下水処理場に向かって、シールド工法で地下を少しずつ進んでいきます（現在約1.3キロメートル）

「水」は、私たちの生活や美しい自然を保つために欠かせない大切なものです。

家庭の台所やトイレ、風呂などから流れ出た水は、やがては循環して、私たちの生活水となって戻ってきます。

下水道は、家庭などから出た生活排水を下水処理場に送り、ここで、微生物の力を借りて水をきれいにして、川や海に流しています。また、大雨が降っても素早く雨水を流すので、水害を予防する役目も果たしています。

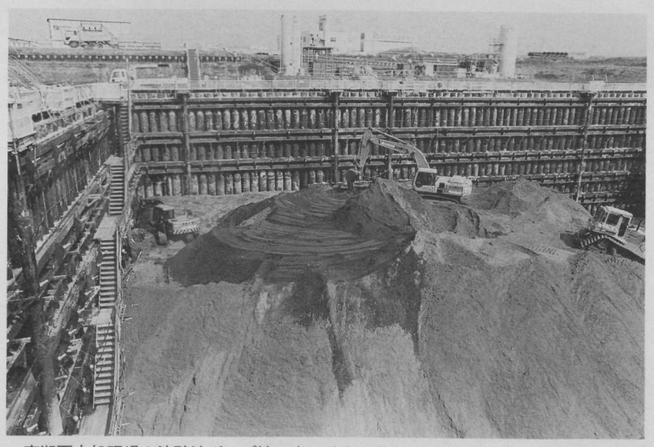
船橋の下水道普及率は、平成5年度末で約31パーセントですが、現在、市内で最も人口が集中している地域を対象とする高瀬、津田沼処理区で、本格的な工事が進められています。

特に高瀬処理区は、計画面積3135ヘクタールと、下水道を整備する区域全体の45パーセントを占め、対象となる人口も30万2000人。第一期事業としてJR東船橋駅周辺で幹線の工事が行われています。この処理区の汚水は、平成10年度に一部利用開始を目指して、同時に建設を進めている高瀬下水処理場で処理されます。

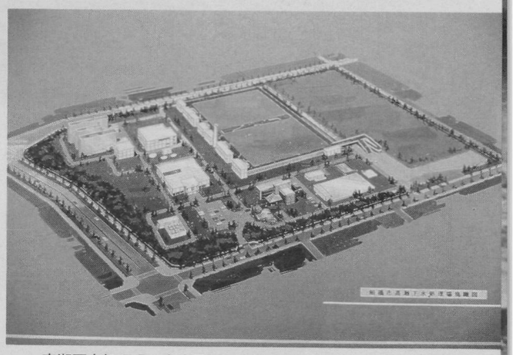
船橋市では下水道普及率の向上を、最も優先しなければならない課題の一つとして、今年度の下水道予算も、厳しい財政事情の中、前年度比13・8パーセント増の234億円を投入しています。

下水道の整備は、水の流れとは逆に、低い所から高い方へ進めていきますが、それには長い期間と多くの費用を必要とします。

美しい自然を将来に残し、快適な生活環境を守るため、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

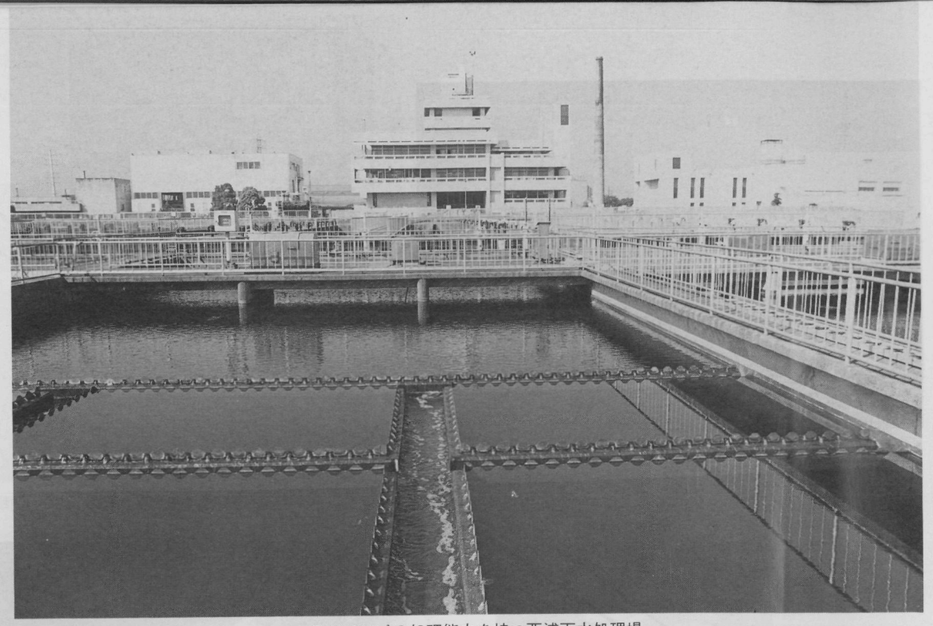


高瀬下水処理場の沈砂池ポンプ棟工事。地上2階（13㍍）、地下5階（34㍍）の施設で、下水管から流れてくる汚水のゴミと砂を除去して、水処理施設へ送ります



高瀬下水処理場の完成予想図。管理棟内にはギャラリーや見学コースが設けられ、水処理施設の上は多目的広場になります

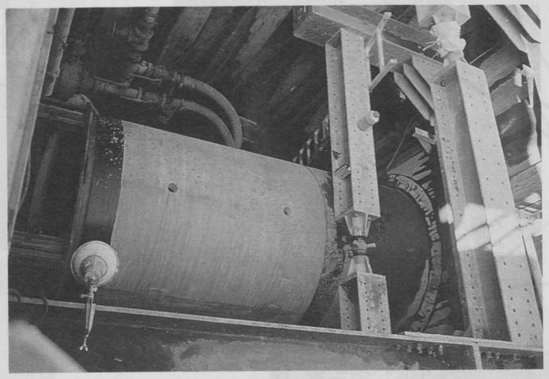
市役所玄関前に展示された直径2.5メートルの下水管



1日48,800㎥の処理能力を持つ西浦下水処理場

西浦下水処理場のコントロールタワー、中央制御室

西船公園（西船2）脇で行われている下水道の開さく工事

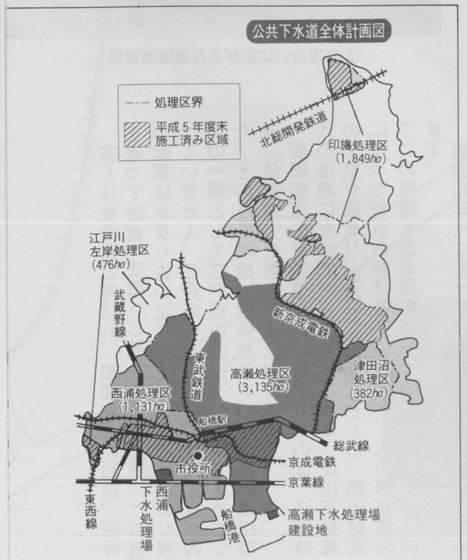


推進工法による工事。現地の状況に応じて、3種類の工法の中から工事方法を決定します

工事が始まる前に、町会単位で説明会が行われます

下水道の仕組みや役割を理解してもらおうと行われた下水道展

下水道展では下水道何でも相談コーナーも設けられ好評でした



※色がついている部分は都市計画決定された地域です。

とくしゅう PART2

ふなばしの道 ① 成田街道界わい

古くは佐倉道と呼ばれ、船橋から大和田、臼井を通って佐倉、成田へと続く「成田街道」。この道の起源はかなり古いようですが、資料はあまり残っていません。江戸時代に入って、徳川家康が内治の一環として江戸周辺の街道の整備を進めました。そのうち船橋に関係が深いのが、この成田街道（佐倉道）と東金街道（御成街道）。

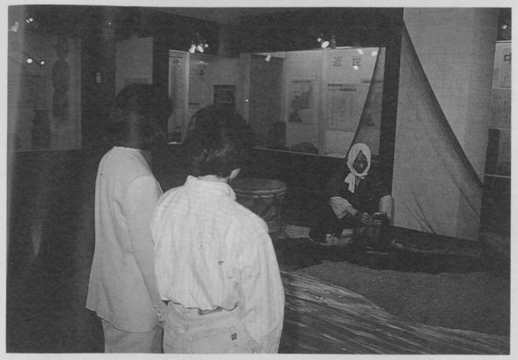
成田街道の交通量が特に増加したのは、江戸時代の後期になってからです。これは、成田不動尊の人気が高まり、参拝客が増加したため。明治時代になってからも参拝客でにぎわい、人力車が並んでこの街道を走る風景は一つの名物だったといいます。

明治30年代に入って、鉄道が開通すると、これを利用して成田に行けるようになったため、参拝客は少なくなりましたが、成田街道は産業道路としての役割を担って栄え続けました。また、習志野原にある演習場へ向かう軍人の多い道としても知られていました。

現在の成田街道も、産業道路として交通量の非常に多い道であり、住宅やお店が建ち並んでいますが、この街道の周辺には、たくさんの史跡や文化財が残されています。また、薬円台（薬園台）という地名の由来も、1722年（享保7年）、八代将軍吉宗の時代に、江戸幕府の「下総薬園」がこの地に設立されたことによるものです。

船橋は、古くから交通の要衝として栄えてきました。まちの発展を支えてきた街道の一つ「成田街道」。薬円台4丁目の街道沿いには「郷土資料館」もあります。たまには車を降りて、歴史の散歩道として歩いてみるのもいいかも知れませんね。

①船橋市、八千代市の市境、新木戸


⑥郷土資料館では、年3回、趣向をこらした企画展示を行っています（大好評だった「船橋のあゆみ展」）

②1日に約700台もの車両検査を行っている習志野車検場。11月末まで自動車点検整備推進運動が行われています

③街道沿いに広がる自衛隊演習場。

④日本で唯一の御馬見所。現在は空挺団資料などが展示される空挺館に

⑤陸上自衛隊習志野駐屯地の衛門

⑪街道沿いにはこのような庚申塔が点在しています

⑦薬円台公園の自由運動広場。この日は、老人大学OBの皆さんがグランドゴルフを楽しんでいました

⑨店を構えて25年になるという魚眞の二代目のご主人。ふれあいのサービスが受けています

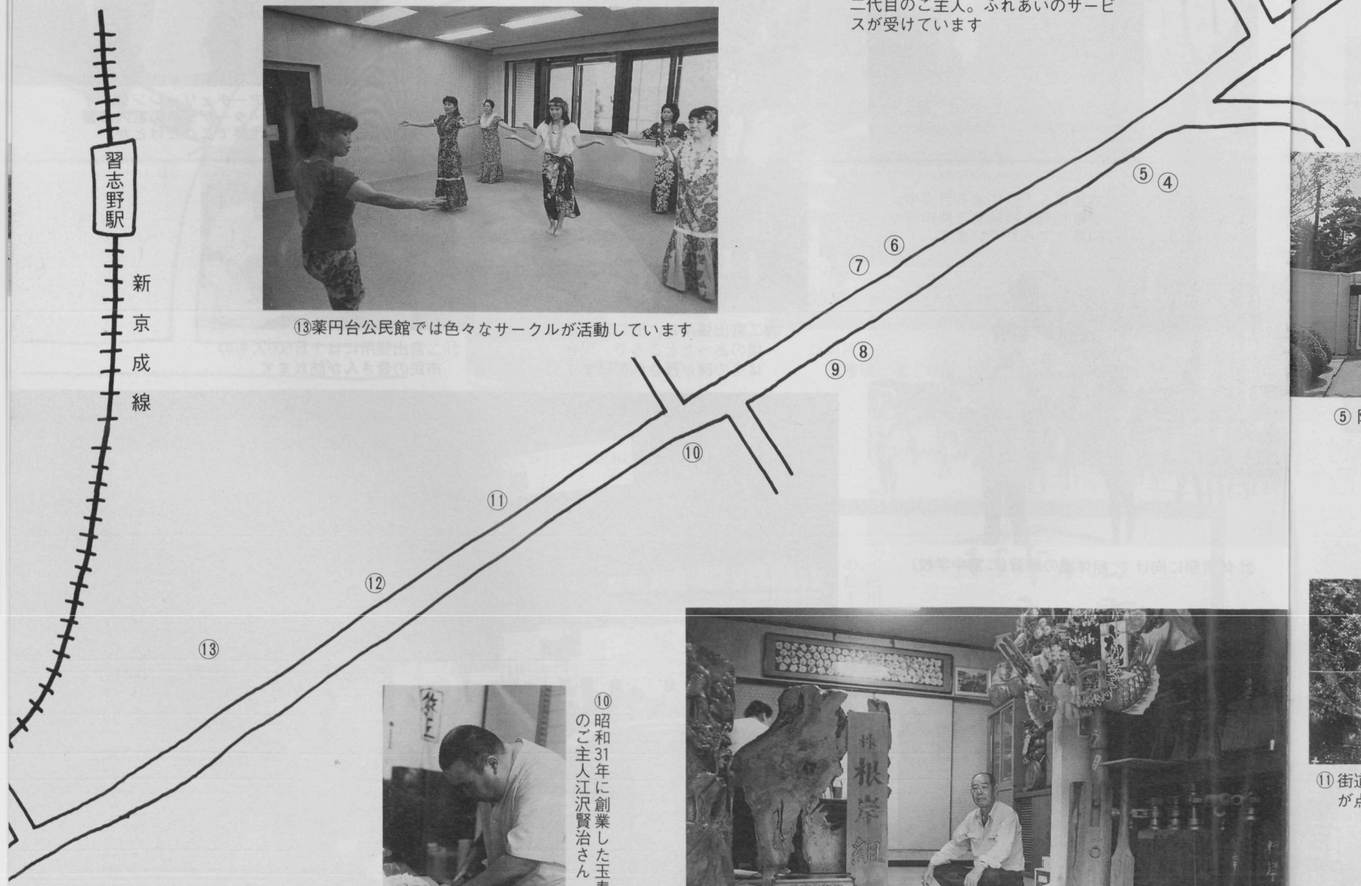
明治23年ごろの成田街道。現在の郷土資料館あたり

⑫東消防署薬円台出張所。化学消防車1台を配備し、薬円台、二宮、滝台、七林の地区を受け持っています

⑬薬円台公民館では色々なサークルが活動しています

⑩昭和31年に創業した玉寿司二代目のご主人江沢賢治さん

⑧蔦根岸組二代目の根岸鉄雄さん

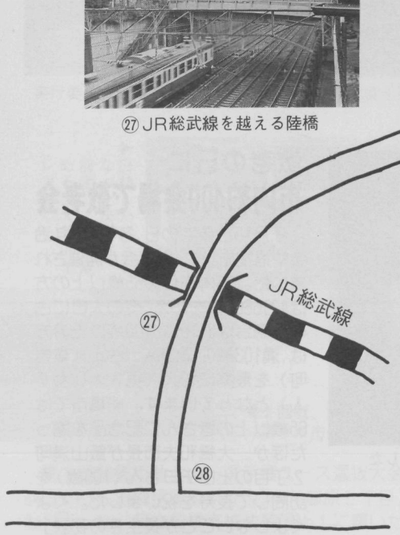


成田街道を走る路線バスは、津田沼駅への重要なアクセス

⑲延宝年間(1670年代)に創建された滝台の阿弥陀堂

㉖昭和22年に開通した新京成線は市民の大切な足（新京成前原駅）

㉗JR総武線を越える陸橋



㉘成田山の信徒によって明治12年に立てられた「成田山道」の道標

㉓前原の鎮守、御嶽神社。祭神としてまつられている蔵王権現三尊立像は、県の指定文化財になっています

新京成の文化財

熊野神社

（古作3丁目）

紀州から先住民が渡来、定住したのが此地の始まりで、彼らが郷国の神を祀ったのが熊野神社だと、境内の由来の碑（昭五二）は記している。祭神は家津御子神（ケツミコノカミ）、別名スサノオノミコトを云う。

もう一つ記念碑、（昭五九）というのが目に停まる。同碑によれば、昭和五十年十一月一日不審火があり社殿が全焼、同五十二年十月今日見るように再建成ったと記す。

本殿、拝殿とも結構は簡素だがまことに荘厳。稚子柱を持つ朱の木の鳥居が竹林の緑によく映える。小山林中の下草はきれいに刈られていて、彼岸花ばかり、こちらに一かたまり、あちらにもと、朱の花束を差し出している。

何はともあれ、ご神木のタブの木の圧倒的な迫力に感動する。船橋市名木十選の一。船橋最大の巨木とは同行してくれたS君の話。

何十年何百年か昔、主幹の頭が地上数メートル先で欠損、そこから大樹のエネルギーが数本横へ枝分かれして平らかに伸び広がり、今ではそれぞれが一・五メートル程の太さの幹周りになっている。枝の下に佇つと、あたかも恐竜の首を見上げているようで不気味。いや待て、祭神に因みヤマタノオロチに譬えたほうがいいのかな。

（文・大木　勲）

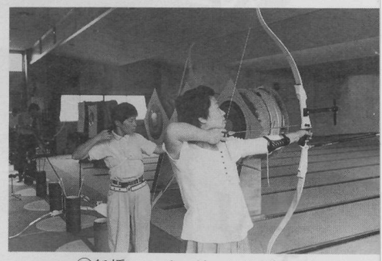
ご神木の「タブの木」

椎子柱を持つ鳥居と拝殿

⑱300年前に建てられたかやぶき屋根の家屋。手焼きのかわらが歴史を語っています(滝台1丁目)

⑯高幢庵には木っぱ地蔵と、その作者、木食僧観信の墓があります

⑭倶梨迦羅不動尊境内の池のほとりに立っているフジの木


⑰船橋アーチェリーレンジ。オート・ターゲットの室内練習場は世界でここだけとか

㉕前原東5丁目にある百庚申。健康長寿を祈願する庚申塔が64基立てられています

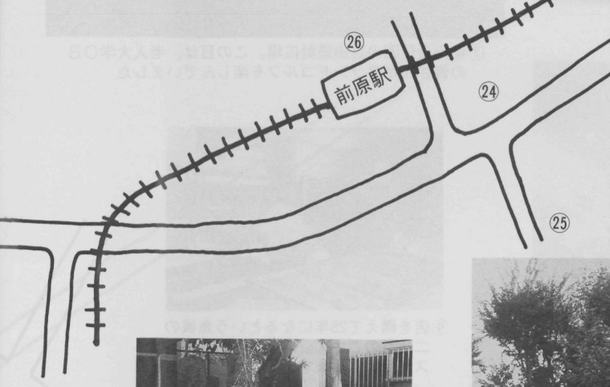
⑳二宮出張所は、旧二宮町役場のあったところで、現在はその碑が残されています

㉑二宮出張所には1日500人もの市民の皆さんが訪れます

㉒体育祭に向けて、組体操の練習(二宮中学校)

㉔前原にある唯一の寺、道入庵。境内には前原成立の経緯を伝える地蔵があります

⑮帰宅ラッシュを迎える夜の新京成薬円台駅



救急医療の主役は皆さんです
救急医療シンポジウム'94

9月10日、市民とともに考える救急医療シンポジウム'94が、市民文化ホールで行われました。今年のテーマは「ひろげよう！命を救うＣＰＲ!!あなたもできるダイヤモンドの３分間」。式典であいさつに立った大橋和夫市長は「救急医療の先進都市を目指す船橋市では、24時間体制のドクターカーや救命救急センターの開設など、様々な施策を実施していますが、救急医療の主役は皆さんです。ＣＰＲ（心肺蘇生法）を是非習得してください。」と話しました。

シンポジストには、教育現場でＣＰＲを実践した県立船橋古和釜高校教諭の砂金（すなかね）伸さんや、海神中学校教諭の大谷泰彦さんなど５人をお招きしました。皆さんの身近で起こった事故とその後の応急処置などの体験談を、会場に詰め掛けた皆さんは真剣に聞き入っていました。また、ステージで行われたＣＰＲ体験学習にはたくさんの方々が参加。改めて市民の皆さんの救急医療に対する関心の高さが感じられました。

▲八木が谷中学校演劇部や救急隊、医師の皆さんが熱演した救急劇

◀ＣＰＲの重要性について発表したシンポジストの皆さん

市民ギャラリーで
船橋市収蔵浮世絵展

8月9日から14日まで、市民ギャラリーで船橋市収蔵浮世絵展が開催されました。今回展示された浮世絵は、西図書館に収蔵されている約470点のうち、初代広重の「富士三十六景」など江戸時代後期の作品を中心とした47点。浮世絵は紫外線などの光線に弱いため、公開されることはほとんどありませんでした。この貴重な機会に実物の浮世絵を見ようと、連日たくさんの皆さんが会場を訪れ、美しく鮮やかな作品に魅せられていました。

今回展示された作品は、西図書館での映写サービスで見ることができます

敬老の日に
市内約400会場で敬老会

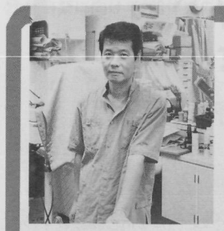
9月15日敬老の日、各町会・自治会や福祉施設で、敬老会が開催されました。市内在住の65歳以上の方は4万6600人を超え、市の人口に占める割合は8.79%。100歳以上の方は、満103歳の栗山ハナさん（車方町）を最高に10人（男３人、女７人）となっています。船橋市では65歳以上の皆さんに記念品を贈ったほか、大橋和夫市長が飯山満町２丁目の上田チヨさん（100歳）を訪問して長寿を祝いました。「くよくよしないことが長生きの秘訣」という上田さん。息子さん夫婦やお孫さん夫婦、ひ孫の聖佳ちゃんに囲まれて元気な笑顔を見せていました。

大橋市長が、上田チヨさんの長寿を祝いました

職員の寸劇に大喜び（古和釜恵の郷）

市民ひとことインタビュー

テーマ　あなたの災害対策は？



懐中電灯とラジオ、非常食を用意してあります。
塚越恒夫さん（前原西４）

学校に防災ずきんがあります。
飯島護大（もりひろ）くん　鈴木明道（あきみち）くん
須田　潤くん　飯島誉大（たかひろ）くん
秋山智史くん（豊富小）

消火器と非常時の持ち出し品を入れたリュックを用意しています。
水上　馨さん（西船２）
綾子さん

家族で避難場所（二和小学校）を確認しています。
中井こずえさん（南三咲2）
奨くん（1歳8か月）

なにもしていないのですが、避難の用意だけはしたいですね。
村田康子さん（咲が丘２）
拓也くん（1歳7か月）

7200人が参加
総合防災訓練

9月1日、船橋中学校をメーン会場に、大穴北小学校、習志野台中学校の３か所で総合防災訓練が行われました。

当日は、総勢4748人の市民の皆さんが参加し、三角巾を使った応急処置や消火器による初期消火訓練など、実践に役立つ訓練を体験していました。

また、警察や自衛隊、赤十字奉仕団など関係機関も参加して、負傷者の救出や給水・給食活動、災害復旧訓練など、様々な場面を想定した訓練が迅速に繰り広げられました。

約３時間にわたったこの訓練、災害に対する心構えを改めて考え直し、いざというときに落ち着いて行動するための良い機会となりました。

8月28日には、海浜公園で津波対策訓練も行われ、2500人の皆さんが参加しました。

▲負傷者救出には迅速な処置が大切です

初期消火訓練（大穴北小）

津波対策訓練でＣＰＲを体験学習する皆さん

日本と韓国が芸術交流
日韓現代美術展'94

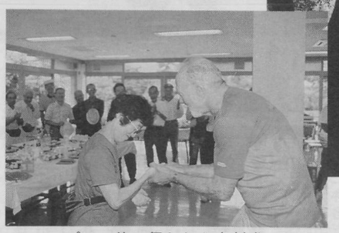
芸術交流を通して日本と大韓民国の友好を深めようと、両国の若手芸術家が協力して'91年から行っている日韓現代美術展。今年は「対話する風土」と題して、８月17日から23日まで市民ギャラリーで開催され、日本側33人と、韓国側30人の若手芸術家による前衛的な作品が展示されました。

美術展関係者や大橋和夫市長が出席して行われた18日のオープニングレセプションでは、韓国側実行委員長の清州芸術大学金在寛学長から日本側実行委員の皆さんに感謝の言葉が述べられ、大橋市長は両国の一層の交流を呼び掛けました。

実行委員の皆さんから作品の説明を受ける大橋市長

発案者エド・ヘドリック氏を迎えて
フライングディスクゴルフトーナメントを開催

フリスビーを単なるおもちゃとしてではなく、スポーツとして普及させようと発案されたフライングディスクゴルフ。その生みの親であるエド・ヘドリック氏が来日したことを記念して、9月17日、船橋市運動公園で、フライングディスクゴルフトーナメントが開催されました。このスポーツ、発祥地のアメリカでは若者を中心に親しまれていますが、日本では高齢者にも楽しめるニュースポーツとして人気があります。木の間をディスクがうまく抜けていくと、「ナイススロー」と掛け声が。あいにくの天気のなか、参加した皆さんは、びしょぬれになりながらもプレーを楽しんでいました。



プレー後に行われた表彰式

▲ヘドリック氏もゲームに飛び入り参加して、一緒にプレーを楽しみました

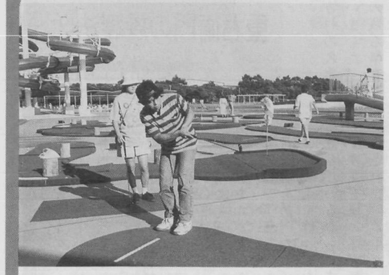
国境をこえた熱い交流
第8回船橋市サッカー選手権

▶白熱した試合となった決勝戦。前半ゴールを決める日大藤沢イレブン

◀２回戦。延長の末４対２で冨平が市船をやぶりました

第８回船橋市サッカー選手権ユース選抜大会が、８月24日から３日間伊藤忠グラウンド（藤原５丁目）などで行われました。市立船橋高校や韓国№１に輝いた冨平（ふうひら）高校をはじめ、全国から高校サッカーの強豪校やクラブユースが16チーム参加。試合はトーナメント方式で行われ、照りつける日差しの中で、息詰まるような熱戦を展開しました。結局決勝戦に勝ち残ったのは、日大藤沢高校と冨平高校。連戦の疲れを感じさせない戦いは４対３で日大藤沢が初優勝を飾りました。

海浜公園も衣替え
パターゴルフ・つりぼり・卓球がオープン



９ホール、パー27のコース

連日の猛暑で、この夏大変なにぎわいを見せたふなばし海浜公園。秋を迎えて、恒例のパターゴルフ・つりぼり・卓球がオープンしました。営業時間は午前10時から午後４時まで。料金はパターゴルフが１人１周 350円（用具貸出し含む）、つりぼりが１人１日 500円（用具・エサ代含む）、卓球が１人１時間 350円です。休園日は月曜日と祝日の翌日。チビッ子からお年寄りまで気軽に楽しめる秋の海浜公園に、皆さんもお出掛けください。　問 ☎35－0828

街 まちかど 角 ホットニュース

皆さんからの情報をお待ちしています。
▷広報課☎㊱2015

千年の伝統 能面の美
能・狂言面と木彫レリーフ展

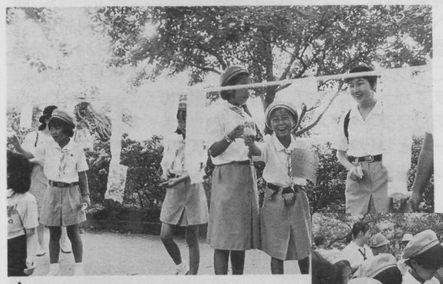
9月20日から25日までの6日間、船橋市民ギャラリーで「能・狂言面と木彫レリーフ展」が行われました。この展覧会は、船橋市美術連盟会長の木彫作家、草野慎さんが主宰する慎美会会員の皆さんの作品を発表するもので、今年で7回目の開催となりました。会場には、160点をこえる能面・狂言面・彫刻などが展示され、会場を埋めた大勢の皆さんは、能面の持つ美しさに魅せられたように、1点1点立ち止まって見入っていました。

▲開催期間中は、大勢の皆さんが会場を訪れ、能面の美しさに見とれていました

◀慎美会を主宰する草野慎さんの作品。

ガールスカウト船橋市連絡会
ふれあいフェスティバル開催

小・中学生に環境問題について関心を持ってもらおうと、9月10日、富士見橋から八栄橋までの海老川沿いで、「ふれあいフェスティバル」が開かれました。このフェスティバルは、ガールスカウト船橋市連絡会に所属する小・中学生約500人が参加して行われたもので、集まった子供たちは、海老川の水質を調べるコーナーや、水鉄砲を使ったゲームコーナーなど、水や自然を愛する心を持つように企画された催しを楽しんでいました。



▲水鉄砲でお菓子を落とすゲームを楽しんだガールスカウトの子供たち

水質を調べるコーナーでは、真剣な表情を見せていました▶

障害者と健常者が運動会で交流
ふれあいスポーツ広場

▲様々な競技でさわやかな汗を流しました

◀力を合わせて元気に選手宣誓

9月18日、総合体育館で「ふれあいスポーツ広場」が開催されました。これは、船橋市生活学校連絡協議会の主催で今回初めて行われた、障害を持つ方々と一緒に楽しむ運動会。パン食い競走やケツアツ検査など、楽しい競技の数々に、参加した1000人を超える皆さんが一生懸命チャレンジしていました。和やかな雰囲気の中で行われたこの催し、障害者と健常者が共に社会生活を送るための新たな可能性を示していました。

ふなばしの民話

重右衛門ばなし(九)
重右衛門の操縦法(2)

文・村上昭三

北方村周辺の水田も今ではすっかり宅地化した（古作4丁目）

重右衛門は北方村の久兵衛どんで働いていました。

まだ冷たい風の残る早春のある日、おかみさんは重右衛門に、隣の宮久保村近くの田耕いを言い付けました。そしてその出掛けに、大きな弁当を持って来て、この弁当だけでも仕事が出来るよと、冗談を言いながら手渡しました。

この冗談話を、この家のお婆様が小耳にはさみ「これは、重右衛門がきっと何か為出かすよ」と独り言を言いました。

案の定、重右衛門は田圃に着くと、弁当を鍬の柄に結びつけ、本人は一日中遊んでいて、夕方になったので戻って来ました。

丁度その時、戸口にいたお婆様は、重右衛門に今日の仕事の様子を聞きました。すると、出掛けにおかみさんに弁当だけでも仕事が出来ると言われたので、朝からずーっと見ていたが、この弁当は全々仕事をしなかったと話をしました。

これを聞いたお婆様は、一言の小言も言わずに微笑を浮べながら

「そうか、そうか、それはご苦労さんだったのー。さあさあ、今日は寒い天気の中で骨を折ったので、特別にご馳走を作ってお膳に用意しているから、すぐに顔や手足を洗って夕飯を食べなされ」

と言って、あべこべに褒めてくれました。

これには、大のつむじ曲りの重右衛門も、大いに気を咎めました。また、決まりが悪くなりました。そして、このようなことが、その後も時々繰り返され、終いには変なことは出来なくなりました。

そのため、頻繁に奉公先を変える重右衛門も、このお婆様の言い付けはよく聞き、3年も奉公したということです。それから、これには照れくささがあってか、それとも負け惜しみの性分のためか、重右衛門は

「おれ、この家に3年も使われた。3年も使われて悔しいだ」

と言って、時々涙を流していたということです。

ふなばしの郷土芸能
小室の獅子舞

▲雄獅子と中獅子が雌獅子を取り合います

◀笛を鳴らしながら本覚寺に向かう一行

8月21日、小室町の本覚寺境内で「小室の獅子舞」が行われました。県の無形文化財にも指定されているこの獅子舞は、悪魔を祓うといわれており、疫病退散を祈って演じられます。地元のお年寄りに指導を受けた小室中学校の生徒2人も、緊張した様子で舞っていました。

騎士のスポーツ
フェンシングの集い

8月26日、フェンシングの集いが行われ、ファンや関係者など約80人が参加しました。これは、船橋市で開催される国体関東ブロック予選を控え、市民の皆さんにフェンシングに親しんでもらおうと行われたものです。種目別に簡単なルールを説明したあと、会場に設けられたピストの上で、フルーレのエキシビジョンが行われました。実戦さながらの試合に、気合いや掛け声が飛び交い、会場は熱気に包まれていました。

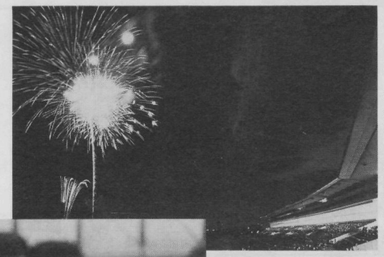
気合いと共に相手に攻め込みます

船橋西部地区
第5回ふなばし双六ラリー大会

次々とチェックポイントに到着する子供たち

9月11日、葛飾中学校をメーン会場に、第5回ふなばし双六ラリー大会が行われました。双六ラリーは、4・5人でチームを作り、1人がサイコロを振って残りの人が地図を頼りにチェックポイントをサイコロの目だけ進むゲーム。参加者の皆さんは、ポイントとして設定された葛羅の井や松ケ根部屋など13の名所旧跡を回りながら、身近な景色の中に新しい発見をしていました。

JRA創立40周年記念
花火シンフォニーin中山



▲目の前で広がる花火は大迫力

◀パドックで行われた加藤紀子のミニコンサート

8月17日、中山競馬場で「花火シンフォニーｉｎ中山」が開催されました。これはＪＲＡの創立40周年を記念して行われたもので、コース内を使って約4000発の花火が打ち上げられました。スタンドを包み込む様に大輪の花が広がると、会場に詰め掛けた3万人の皆さんから大歓声が揚がりました。このほか、人気アイドルのミニコンサートやターフビジョンを使ったアニメの上映なども行われ、チビッ子や若者たちの人気を集めていました。

ズームアップ

新体操
太和田麗さん（市立湊中学校3年）
「何事も途中であきらめちゃいけない」

全日本ジュニア目指して頑張ります

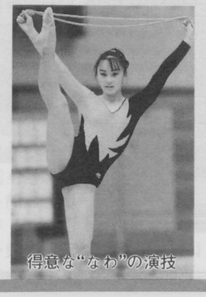
6月9日から12日まで、韓国で行われた第9回四大陸新体操選手権大会で、個人総合第7位、種目別のなわで第3位に輝いた太和田麗さん。現在、市立湊中学校3年生で、読売安達新体操クラブに所属するジュニア界の注目株だ。このほかにも92年アジアジュニア選手権大会の団体で優勝、94年の同じ大会で個人総合準優勝など見事な成績を収めている。

幼い時からスイミングスクールに通っていた太和田さんは、小学2年生のときに、他のスポーツを始めたくなった。そのころ何気なく見たテレビに、巧みにリボンを操りながら華麗に舞う新体操の演技が映し出され、その姿にあこがれてさっそく読売安達新体操クラブに通い始めた。初心者クラス、育成クラスを経て、6年生のときに選手クラスへと進んだ。

育成クラスでは、週4日程度の練習が、選手クラスになると休みは週に1日あるかないか。毎日のように午後6時から3時間の厳しい練習を続けている。やめたいと思ったことは？の問いに、「新しい技がなかなかできないとき。それから、友達が楽しそうに休日の話をしているのを見ると、私も一緒に遊びたいなんて思うことも。でも、やっぱり新体操が好きだからやめられません。国際大会に出られたことも私に意欲を与えてくれました。」と、照れくさそうにほほえんだ。

目標とする選手は同じクラブの先輩田原睦子さん（海神中学出身で今年の世界選手権日本代表）。「田原先輩のようにアピール力のある演技をしたいですね。」

「何事も途中であきらめちゃいけないよ」というクラブの先輩の言葉を胸に、9月に開催される全日本ジュニアの予選会と10月の本大会に向けて猛練習中の太和田さん。中学生最後の年を実り多い年にして、さらに大きく羽ばたいてほしい。



得意な"なわ"の演技

アイ・ラブ・フナバシ

緑や畑が残っていて ゆとりのある まちですね

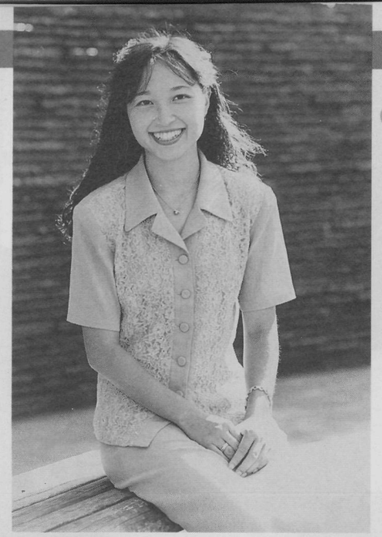
ジェニファー・アン・ジャクソンさん（中野木2）

「船橋は都心に近いし、それでいて周りには緑や畑などが残っていて、とてもゆとりのあるまちですね」。流ちょうな日本語で話してくれるジェニファーさんは、お父さんがアメリカ人で、お母さんは日本人。船橋生まれで、小さいころからずっと東京にあるミッションスクールに通い、今は大学の一年生です。「高校まで、授業は英語でしたが、大学では日本語なんです」と苦笑。

趣味は、スポーツ。ハイスクール時代は、バレーボール、バスケットそしてスキーに魅せられ、今はテニスに夢中とか。「昨日まで菅平で合宿していたんです」とジェニファーさん。

休日にはよく友達を自宅にご招待するそうです。「東船橋駅からウチまで歩くんですが、緑が沢山あって、みんな大喜びなんです。そんな船橋が自慢です」。一人でいる時は、マライア・キャリーやエリック・クラプトン、邦楽ではTHE BOOMなど、お気に入りの音楽を聴いてリラックス。

将来は、語学を生かした職業に就きたいというジェニファーさん。小麦色に日焼けした笑顔がとても印象的でした。



マイ・ファッション

個性を大切にしています

青木春美さん（夏見6）

モスグリーンでフロントを花模様の刺しゅうが覆っているブラウス。スカートはブラウスと対のロングの巻きスカートで、足元は黒いローヒール。「流行に惑わされずに、自分の個性に合った服を選びます」という青木さんは、現在5歳児を受け持つ幼稚園の先生。

アクセサリーは、一番お気に入りの「天使の卵」に誕生石をあしらったネックレスと、右手に三連のリング。そしてソバージュのかかったロングの髪の間から、小さなピアスがのぞいていました。「仕事中は、アクセサリーが邪魔になるので、あまり身に付けていないんです。スーツを買うときも、幼稚園の入園や卒園の式典でも着られるようなものを選んでしまいます。」

普段は動きやすいキュロットやパンツに、Tシャツやカットソーが多いそうです。買い物は主にららぽーと、気に入った洋服が見つかるまで歩き回るとか。

バスケットボールクラブの「ポセイドン」に所属して、毎週土曜日の練習でさわやかな汗を流しています。今は幼稚園の運動会の準備で大忙しですが、そろそろ、すてきな彼が現れないかなという青木さん。公園で無邪気に遊ぶ子供たちを優しい瞳で見つめていました。

お店

子どもの本専門店 グリム

宮本1―10―9
☎0474(24)4195

船橋大神宮から中央卸売市場に向かって進むと、左手に黄色いテントの小さな本屋さんがありました。子どもの本専門店「グリム」です。お店の中をのぞいてみると、普通の本屋さんと違って、置いてある本は童話や昔話の絵本ばかり。ご主人の飯塚須磨子さんは、「娘が3歳のとき、白雪姫を読んであげたくて納得のいく絵本を探していたら、原典を完訳した『白雪姫と七人の小人たち』（ナンシー・エコーム・バーカート画、八木田宜子訳　冨山房）に出会ったんです。ダイジェストではない本物の絵本を子供に届けたいと思ったのがこのお店を始めたきっかけです」と話してくれました。ミニコミ紙「グリム通信」の発行、童話や昔話を研究する「グリム寺子屋教室」、「探見倶楽部」（宮本公民館）の開催など大忙し。「今の子供は塾通いで時間がなく、簡単に読めるマンガや雑誌に走っています。昔はゆとりがあって一人で来た子もいたんですが…寂しいですね」。「お父さんにも絵本を読むことに参加してほしいと思います。子供はお父さんが読んでくれた話をよく覚えているものなんですよ」と飯塚さん。ご自身も童話「ジャンプだテツ！」を創作、現在も新作を執筆中だそうです。

▲「小さい子供たちが楽しそうに絵本を見ている姿を見るとうれしいですね」と話す飯塚さん

◀童話にちなんだモビールや人形なども飾られた店内

あとがき

◇いよいよ11月2日、船橋市と中国の古都西安市が、友好都市（姉妹都市）を締結します。今回の調印式は、西安市で行われますが、船橋からは大橋和夫市長を団長に、市議会や国際交流協会関係者、市民の皆さんなど総勢3000人が親善使節団として参加します。

さらに、友情の証として、桜の苗木3000本を西安市に贈り、その植樹式も行われます。この桜は、「船橋・西安花のかけ橋実行委員会」が、市民の皆さんに呼び掛け、苗木の費用の寄付を募っていたもの。お陰さまで当初の目的も達成し、とりあえず今年度は1000本を贈ることになりました。西安市からも、中国原産の牡丹200株が船橋に贈られる予定です。

船橋市の姉妹都市は、アメリカのヘイワード市、デンマークのオーデンセ市と合わせて3都市になりますが、これからも市民レベルの国際交流を広めていきたいですね。

敷島関と紙相撲を楽しむ福祉作業所「太陽」の皆さん

船橋出身の力士 敷島関が福祉施設を慰問

9月28日敷島関が、身体障害者福祉作業所「太陽」を慰問しました。敷島関は船橋市出身で、西十両三枚目の力士。大相撲のファンという作業所の皆さんと紙相撲をしたり、質問に答えたりと、楽しいひとときを過ごしました。

みんなの広場 サークル通信

みやもとコーラス 宮本公民館

音楽室に響く美しいハーモニーと、皆さんの笑顔がとても印象的なみやもとコーラス。約20人の皆さんが、毎月第1・3水曜日に練習しています。合唱曲のほか、「シクラメンのかほり」など歌謡曲にも取り組んでいます。練習は、軽い体操で体をほぐし、発声練習・合唱へと進みます。途中のティータイムでは、お菓子を持ち寄って楽しいおしゃべり。石原二三枝先生のユーモアあふれる指導も魅力の一つです。「みんなで歌う楽しさを、多くの人に味わってほしいですネ」と代表の綱島さん。将来は、市内の合唱サークルと協力し合って発表会を開きたいというこの会、あなたも一緒にいかがですか。

（連絡先：綱島英子　☎22―4435）

▲雰囲気がとってもいいんですよ

9月7日に行われた公開練習▶

ステップメイト・トワール 新高根公民館

公民館の講習会がきっかけで始まったこのサークル。第1・3・4金曜日の午後1時30分から、小畑（こばた）光子先生の指導でラウンドダンスを楽しんでいます。ラウンドダンスとは、ソシアルダンスやフォークダンスなどをミックスしたアメリカ生まれの新しいダンス。先生のキュー（動作の指示）で、ワルツ、タンゴからポップス、ロックまで、様々な音楽をカップルで踊ることが特徴です。「色々な曲を、普段は着られない美しい衣装で踊るのがとても楽しみです。また、難しい振りを覚えるので、頭の回転も速くなって若返りますね」と代表の戸田さん。皆さんも一緒にいかがですか。

（連絡先：戸田寿々江　☎63―5034）

二和孔版画クラブ 二和公民館

◀数人のメンバーが交代で指導にあたります

手作りの作品は誰に差し上げても喜ばれます

「ワープロや印刷機では伝わらない、私たちの気持ちやぬくもりが伝わります」と皆さん。現在19人のメンバーが毎月第3火曜日に活動しています。孔版画とは、4種類の原紙に針やカッターで穴を開けたり、逆にマスキングテープやクレヨンで穴をふさいだりして版を作り、その上からローラーや筆などを使って油絵の具を刷り込むという「がり版刷」のようなものです。木版画と違って、逆さに彫る必要がなく、ガラスや布などにも刷ることができます。皆さんも、手軽に創作を楽しめる孔版画で、手作りの年賀状やカレンダーを作りませんか。

（連絡先：三浦京子　☎48―8197）

▲和気あいあいと楽しんでいます

難しいダンスをマスターしたときは最高です▶

ペットインタビュー

ご主人の車の音がすると僕たち迎えに行きます

僕たち近所でも評判の仲良しコンビ。まず簡単に自己紹介しま～す。向かって左の柴犬〝太郎〟です。自慢はこの美しいツヤツヤした毛並み。シャンプーが苦手な甘えん坊です。右の〝犬〟です。今とても人気のシェットランドシープドッグ。とてもおっとりした性格です。弱点は掃除機の音です。

僕たちお庭でよくレスリングしているけど、決してケンカしている訳じゃなくて、一種の特訓なんです。というのも、僕たちに与えられた使命は、ホームセキュリティ。ご主人たちが安心してお仕事に専念できるように頑張っているんです。猫の子1匹だって通さない自信あるぞ。ご主人のあふれる愛情と、時々こっそり出してくれるラーメン（うまいんだなぁこれが）を心の支えに、これからも本当の兄弟以上にチームワーク良く家を守っていきます。

なまえ
太郎（柴犬）
&
犬（けん）（シェットランドシープドッグ）
オーナー
久保田恵理さん（東船橋6）

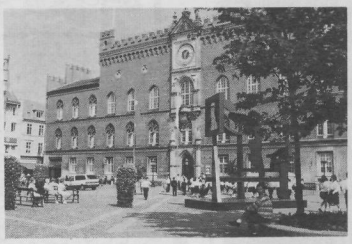
デンマーク・
オーデンセ市へ

船橋ジュニアオーケストラを派遣

姉妹都市締結5周年を記念して

アンカー・ボイエ　オーデンセ市長（中央）を訪問した船橋ジュニアオーケストラの皆さん

宿泊先のオーデンセホテル前で記念撮影



オーデンセ市庁舎

オーデンセ・コンサートホールで、最高の演奏を披露しました

船橋市とデンマーク王国オーデンセ市の姉妹都市締結5周年を記念し、8月15日から22日まで、文化使節として船橋ジュニアオーケストラ（冨田順子団長・108人）をオーデンセ市に派遣しました。このオーケストラは、今年で創立14年目。小学4年生から高校生までの子供たちで構成されています。一行は、17日にオーデンセ・コンサートホールで演奏会を開きました。オーデンセ出身の世界的作曲家カール・ニールセンの「仮面舞踏会」序曲など5曲を披露すると、会場に詰め掛けたアンカー・ボイエ市長をはじめ、700人の市民の皆さんからブラボーの歓声と共に総立ちの拍手。今までで最高の演奏ができたという子供たちの姿に、世話役の皆さんも思わず涙を流す場面もありました。両市の友好はもちろん、参加した子供たちにとっても、たいへん実りの多い演奏旅行となりました。

スポーツで健康ふなばし
こんにちは…